



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場会社名 株式会社 丸順  
 コード番号 3422 URL <http://www.marujun.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 今川 喜章  
 (氏名) 小高 光一  
 配当支払開始予定日

TEL 0584-89-8181  
 平成25年11月26日

上場取引所 名

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	30,714	19.2	565	23.8	509	137.4	216	△1.9
25年3月期第2四半期	25,776	55.0	456	—	214	—	220	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,972百万円 (590.8%) 25年3月期第2四半期 285百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	22.19	—
25年3月期第2四半期	22.62	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	47,186	11,051	16.1
25年3月期	40,698	9,171	15.2

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 7,577百万円 25年3月期 6,166百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
26年3月期	—	2.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,000	25.3	2,500	152.4	2,000	148.7	1,200	120.1	122.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	9,771,000 株	25年3月期	9,771,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	4,855 株	25年3月期	4,855 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	9,766,145 株	25年3月期2Q	9,766,145 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P31(3)「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(4) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、景気の低迷が長期化した欧州地域では底入れ期待が出始めるなど、先進国の回復が見え始めたものの、中国では景気の減速感が依然として高まっており、ASEAN諸国においても堅調に続いていた景気の成長が鈍化するなど、世界経済の牽引役を期待される新興諸国に陰りが見られ、全体で不安定な状況で推移しました。

当社グループが属する自動車業界においては、米国では緩やかなペースながら回復基調をたどっており、世界最大の自動車市場へと成長した中国では景気の減速に合わせ販売台数の推移も緩やかなものとなっております。また、日本国内では昨年度実施されたエコカー補助金制度終了に伴う反動で販売台数が落ち込んだほか、衝突安全性能や地球環境問題などの社会的な要求は高まり続けており、業界として対処すべき課題は年々増え続けております。

このような状況のもと、当社グループは第5次中期経営計画仕上げの年として、埼玉工場やタイ新工場の立上げなどグローバル基盤の構築や、高張力鋼板加工技術をはじめとするコア技術の深化など、グローバル企業への種まきと基盤づくりに取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は30,714百万円（前年同四半期比19.2%増）、営業利益は565百万円（前年同四半期比23.8%増）、経常利益は509百万円（前年同四半期比137.4%増）、四半期純利益は216百万円（前年同四半期比1.9%減）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(丸順)

丸順においては、自動車用車体プレス部品ではエコカー補助金制度終了による反動により大きく減産したほか、新型車の部品の立上りに伴う費用の増加などにより原価高となりました。また、金型では新機種設備の受注減少により、売上高、利益ともに前年を下回る水準で推移いたしました。

売上高は7,209百万円（前年同四半期比22.1%減）、経常損失は276百万円（前年同四半期は585百万円の経常利益）となりました。

(タイ)

タイにおいては、タイ洪水からの復興需要や自動車産業の成長による輸出の増加、国内消費の拡大に支えられ、生産は好調に推移いたしました。

売上高は7,177百万円（前年同四半期比117.0%増）、経常利益は852百万円（前年同四半期は496百万円の経常損失）となりました。

(広州)

広州においては、日中関係悪化による主要客先の生産が回復途上であり、為替の影響により売上高は増加したものの、新型車の部品の立上りに伴う費用の増加などにより利益は減少いたしました。

売上高は5,272百万円（前年同四半期比10.8%増）、経常損失は103百万円（前年同四半期は185百万円の経常利益）となりました。

(武漢)

武漢においては、日中関係悪化に伴う主要客先の生産の減少があり、為替の影響により売上高は増加したものの、償却費などの固定費の負担が増加したことにより利益は減少いたしました。

売上高は2,535百万円（前年同四半期比13.5%増）、経常利益は175百万円（前年同四半期比6.2%減）となりました。

(インディアナ)

インディアナにおいては、自動車市場の需要回復による主要取引先の増産や、当社グループの生産体質の浸透など、様々な取組みを行い、売上高、利益ともに前年を上回る状況で推移いたしました。

売上高は8,792百万円(前年同四半期比37.8%増)、経常利益は82百万円(前年同四半期は130百万円の経常損失)となりました。

(四輪販売)

四輪販売においては、エコカー補助金制度の終了に伴い新車及び中古車の受注が減少し、売上高、利益ともに前年を下回る状況で推移いたしました。

売上高は1,276百万円(前年同四半期比5.8%減)、経常損失は3百万円(前年同四半期は11百万円の経常利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当社グループの当第2四半期連結会計期間末における資産総額は、47,186百万円となり、前連結会計年度末と比較し、6,487百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が181百万円減少、受取手形及び売掛金が1,767百万円増加、仕掛品が435百万円増加、有形固定資産が5,255百万円増加したことが要因であります。

負債総額は36,135百万円となり、前連結会計年度末と比較し、4,607百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が2,317百万円増加、短期借入金が636百万円増加、長期借入金が679百万円増加、リース債務が256百万円増加したことが要因であります。

純資産は11,051百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1,879百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が197百万円増加、為替換算調整勘定が1,162百万円増加したことが要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、国内については新型車の部品の立上りロスについて生産安定化の目途が立ち、海外については引き続き主要客先の生産が好調に推移することが見込まれることから、現時点では平成25年7月31日発表の通期業績予想を据え置き、今後の市況や業績動向等を踏まえ修正が必要と判断された場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,026	1,845
受取手形及び売掛金	6,698	8,466
商品及び製品	419	547
仕掛品	1,561	1,996
原材料及び貯蔵品	1,540	1,540
その他	2,615	1,573
貸倒引当金	△14	△11
流動資産合計	14,848	15,958
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,972	6,219
機械装置及び運搬具(純額)	6,152	6,643
工具、器具及び備品(純額)	4,511	5,864
土地	2,102	2,156
リース資産(純額)	1,312	1,420
建設仮勘定	3,256	6,258
有形固定資産合計	23,306	28,562
無形固定資産	223	228
投資その他の資産		
その他	2,337	2,453
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	2,320	2,436
固定資産合計	25,850	31,227
資産合計	40,698	47,186

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,450	8,768
短期借入金	10,166	10,803
リース債務	303	347
未払法人税等	63	59
賞与引当金	229	221
その他	2,561	3,244
流動負債合計	19,774	23,445
固定負債		
長期借入金	9,207	9,887
リース債務	638	851
退職給付引当金	953	1,001
資産除去債務	84	85
負ののれん	8	5
その他	860	858
固定負債合計	11,752	12,689
負債合計	31,527	36,135
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,037	1,037
資本剰余金	935	935
利益剰余金	3,747	3,944
自己株式	△2	△2
株主資本合計	5,718	5,915
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	706	758
為替換算調整勘定	△259	903
その他の包括利益累計額合計	447	1,661
少数株主持分	3,005	3,473
純資産合計	9,171	11,051
負債純資産合計	40,698	47,186



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	25,776	30,714
売上原価	22,895	27,895
売上総利益	2,880	2,818
販売費及び一般管理費	2,424	2,253
営業利益	456	565
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	14	16
為替差益	—	163
助成金収入	18	—
その他	30	34
営業外収益合計	69	219
営業外費用		
支払利息	218	251
為替差損	22	—
その他	69	23
営業外費用合計	311	274
経常利益	214	509
特別利益		
固定資産売却益	0	33
投資有価証券売却益	0	—
受取保険金	878	—
その他	—	28
特別利益合計	879	61
特別損失		
固定資産売却損	2	5
固定資産廃棄損	379	—
段階取得に係る差損	128	—
投資有価証券評価損	0	—
特別損失合計	511	5
税金等調整前四半期純利益	583	565
法人税等	285	237
少数株主損益調整前四半期純利益	297	328
少数株主利益	76	112
四半期純利益	220	216

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	297	328
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△128	51
為替換算調整勘定	116	1,591
その他の包括利益合計	△12	1,643
四半期包括利益	285	1,972
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	178	1,430
少数株主に係る四半期包括利益	107	541

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	丸順	タイ	広州	武漢	インディアナ	四輪販売	
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	8,164	3,296	4,350	2,233	6,379	1,351	25,776
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,094	11	408	0	0	3	1,519
計	9,259	3,308	4,759	2,233	6,379	1,354	27,296
セグメント利益又は損失(△)	585	△496	185	187	△130	11	343

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	343
セグメント間取引消去	△7
子会社配当金	△132
その他の調整額	11
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	214

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	丸順	タイ	広州	武漢	インディアナ	四輪販売	
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	6,009	7,152	5,053	2,437	8,792	1,269	30,714
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,200	25	219	97	0	6	1,549
計	7,209	7,177	5,272	2,535	8,792	1,276	32,263
セグメント利益又は損失(△)	△276	852	△103	175	82	△3	726

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	726
セグメント間取引消去	△44
子会社配当金	△169
その他の調整額	△2
四半期連結損益計算書の経常利益	509

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。